

違反警告と対処法

こんにちは、松下です。

今日は、YouTubeの違反警告と、その対処法について解説していきます。

YouTubeでは、利用規約に違反したり著作権を侵害してしまうと、違反警告を受ける場合があります。

今回は、違反警告を受けてしまうとどうなってしまうのか、または、もし違反警告を受けてしまった時の対処法について、詳しく解説していきます。

非常に重要な話になりますので、最後までしっかりとご視聴ください。

それでは張り切って参りましょう！

まずは、こちらをご覧ください。

これは、YouTubeのコミュニティガイドラインの一部で「違反警告に関する基礎知識」という項目です。

この中に、違反警告の種類について記載されていますので、ご紹介します。

違反警告が発行された場合、メール、モバイルやデスクトップの通知、チャンネル設定]でお知らせします。お知らせする内容は以下のとおりです。

1、削除されたコンテンツ

2、違反したポリシー（アダルト コンテンツや暴力など）

3、チャンネルへの影響

4、対処方法

となっていますが、こちらを一つ一つ見ていきましょう。

まずは、1の削除されたコンテンツですが、こちらの警告は文字通り、「動画が削除されました」という警告になります。

こちらの警告を、90日間に3回受けてしまうと、チャンネルが削除されてしまいます。

次に、2の違反したポリシーですが、こちらの警告は、動画の削除はありませんが、一部分を修正してくださいという警告になります。

こちらの警告も、90日間に3回受けてしまうと、チャンネルが削除されてしまいます。

次に、3のチャンネルへの影響ですが、こちらは「チャンネルに何かしらの影響がありました」という警告になります。

例えば、「報酬が無効になりました」という警告は、よくあるケースです。

ただし、この警告はペナルティでは無いので、90日間に3回受けてしまっても、チャンネルが削除されるということはありません。

次に、4の対処法ですが、こちらは主に、著作権を侵害してしまった場合に受ける警告で、「収益は有効ですが、この収益は著作権者へ支払われます」と言った内容になります。

こちらもペナルティではないので、90日間に3回受けてしまって

も、チャンネルが削除されるということはありません。

以上が、違反警告の内容になります。

次に、違反警告を受けてしまった場合の、チャンネルへの影響について解説します。

違反警告の 1 と 2 を受けてしまった場合は、先ほども説明しましたが、「90日間に 3 回受けてしまうと、チャンネルが削除されてしまう」という、チャンネルへの影響はありますが、違反警告の 3 と 4 については、チャンネルへの影響は一切ありません。

これから違反警告の 1 と 2 を受けてしまった場合の流れについて解説します。

まず、初めて違反警告の 1 または 2 を受けてしまうと、「事前警告」という通知が YouTube から届きます。

「これは、誰しも間違いはあるもの、最初から YouTube のポリシーに違反する意図はないという理解によるものです。事前警告が出されるのは 1 回だけで、この事前警告はチャンネルに残ります。

次のコミュニティ ガイドライン違反には、違反警告が発行されます。ただし、悪質な行為を1度でも行ってしまうと、事前警告なしでチャンネル停止になることがあります。」
という内容になっています。

事前警告を受けると、YouTubeからこのようなメールが届きますので、メールが届いたら、YouTubeの管理ページで確認します。
事前警告を確認するには、まずはYouTubeのトップページを開いて、右上アイコンをクリックし、YouTubeスタジオに切り替えます。

すると、ダッシュボードが開きますので、左上の「チャンネルの違反回数」をクリックします。

すると、「コミュニティガイドラインの違反警告」というページが開きますので、こちらに詳細が表示されます。

今回は、「事前警告」という違反警告なので、左上に「事前警告」と表示されていますが、内容を読み上げると、「お客様のコンテンツはYouTubeガイドラインに違反しているため、削除されました。
これは1回目の違反であるため、アカウントへの影響はありません。

ん。事前警告を受けるのは一回のみで、これはチャンネルに残ります」

となっています。

そして、右側には「もう一度違反した場合、チャンネルはコミュニティガイドラインの違反警告を受けることになります。アップロード、投稿、ライブ配信などの操作が1週間できなくなります。」

と表示されます。

そして、下には削除された日と、削除された動画が表示されます。

以上が、事前警告に関する内容になります。

次に、事前警告を受けてしまったにも関わらず、再度違反行為をしてしまうと、「1回目の違反警告」という通知を受けます。

1回目の違反警告を受けてしまうと、次の操作が1週間使えなくなります。

- 1、動画、ライブ配信、ストーリーのアップロード
- 2、カスタム サムネイルまたはコミュニティ投稿の作成
- 3、再生リストの作成または編集、再生リストへの共同編集者の追

加

4、動画再生ページでの [保存] ボタンを使用した、再生リストの追加または削除

5、プレミア公開中の予告編の表示

6、ライブ配信からプレミア公開へ、またはプレミア公開からライブ配信へと視聴者を誘導すること

なお、機能制限は 1 週間後について自動的に解除されますが、違反警告は 90 日間チャンネルに残ります。

となっています。

違反警告は90日間チャンネルに残るというのは、こちらのリストに90日間掲載されるということです。

90日が経過すると、履歴は自動的に消去されます。

1回目の警告を受けると、事前警告と同じように、YouTubeからメールが届きますので、メールが届いたら、YouTubeの管理ページで確認をします。

事前警告と同じように、YouTubeのトップページから、YouTube スタジオに切り替え、ダッシュボードの「チャンネルの違反回数」

をクリックすると、1回目の警告の詳細を確認することができま
す。

こちらは、著作権侵害の1回目の警告になりますが、「あなたの動
画に著作権を侵害する素材が含まれていると考えられるため、著作
権者から動画の削除を要請されました。その結果、

1、この動画はYouTubeから削除されました

2、このチャンネルは違反警告を受けました

著作権侵害の警告を3回受けると、アカウントに関連付けられてい
るチャンネルが停止されます」
となっています。

その横には対応策として、

1、何もしない。コピーライトスクールの受講を完了すれば、著作
権侵害の警告は90日で期限が切れます。

2、撤回をリクエストする

3、異議申し立て通知を送信する

動画を削除しても違反警告は解除されません。
となっています。

異議申し立てに関しては、後ほど詳しく解説します。

次に、「2回目の違反警告」ですが、90日以内に2回目の違反警告を受けるとコンテンツを2週間投稿できなくなります。

そして、「3回目の違反警告」で、チャンネルはYouTubeから永久に削除されます。

以上が、違反警告によるチャンネルへの影響になります。

次に、もし違反警告を受けたしまった時の対処法について解説します。

1. コミュニティガイドラインをご覧いただき、ご自身のコンテンツがポリシーに準拠しているか確認します。
2. チャンネルが違反警告を受けたことが誤りであると思われる場合は、お知らせください。今回の決定に対する再審査請求は、こちらで行えます。

なお、YouTubeは独自の裁量により、クリエイターのコンテンツ作成機能を制限する権利を有します。YouTubeまたはYouTube機能の使用が制限されているアカウントが、別のチャンネルを使用

して YouTube の制限を回避する行為は禁止されています。これは、アカウントへの制限が有効である限り適用されます。この制限に対する違反は利用規約の迂回とみなされ、アカウントが停止される場合があります。

となっています。

再審査請求に関しては、後ほど詳しく解説しますが、YouTubeはAIの都合上、間違えて違反警告を下す場合があります。なので、もし、自分は違反していないのに、違反警告を受けてしまったという場合は、慌てずに「再審査請求」をしてください。

次に、「再審査請求」に関して詳しく解説します。再審査請求とは、文字通り「再度審査を請求する」という行為になりますが、再審査請求をすることによって、削除された動画が復活するといったことがよくあります。

これから、具体的なやり方について解説していきます。まずはYouTubeのトップページを開いて、右上アイコンをクリックし、YouTubeスタジオに切り替えます。

すると、ダッシュボードが開きますので、左上の「チャンネルの違反回数」をクリックします。

すると、違反警告の詳細が開きますので、こちらの下の方の「再審査を請求」というリンクをクリックします。

すると、「申立人に問い合わせる」と「異議申し立て通知を送信する」というリンクが表示されるので、「異議申し立て通知を送信する」をクリックします。

すると、「再審査請求の送信」というページが開きますので、こちらの「再審査請求の理由をご説明ください」という欄に、「自分の動画は利用規約には違反していません。再度ご確認をお願いします」という旨の内容を入力し、「送信」をクリックします。

すると、YouTubeからこのようなメールが届き、10日から2週間程度で問題は解決されます。

以上が、YouTubeの違反警告と、その対処法についての解説でしたが、いかがだったでしょうか？

違反警告は1度まででしたら特に問題はありませんが、2度3度と繰り返してしまうと、チャンネルが削除されてしまうという危険性

がありますので、そのようなことが絶対に起きないよう十分に注意してください。

そうならないためにも、最初に利用規約をきちんと把握し、ルールをきちんと守って取り組むことが、非常に重要になりますので、ぜひ、参考にしてください。

というわけで、今回は以上になります。

最後までご視聴いただき、ありがとうございました。